香川県商工会連合会

香川県商工会地区 中小企業景況調査報告書

平成２８年度　第３回　（２８年１０月～１２月期）

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料及び中小企業施策へ反映させるため、全国商工会連合会が中心となり昭和５４年から四半期毎に全国一斉に実施しているものです。
ＤＩとは、各調査項目について ≪増加・上昇・好転≫ の割合から ≪減少・低下・悪化≫ の割合を差し引いた値で ≪景気動向指数≫ を表しています。

＊　記号とＤＩ値の関係は次のとおり

快晴	晴	薄曇	曇	雨
３０．１～	１０．１～３０．０	１０．０～△１０．０	△１０．１～△３０．０	△３０．１～

調査対象地区：１５商工会地区
（東かがわ市、さぬき市、小豆島町、土庄町、三木町、高松市牟礼庵治、高松市中央、直島町、綾川町、丸亀市飯綾、宇多津、まんのう町、琴平町、三豊市、観音寺市大豊）
対象企業数：１５０社（製造業３０社、建設業１７社、小売業４４社、サービス業５９社）

県内商工会地区の業種毎の主要項目のあらまし

項目＼業種		製造業	建設業	小売業	サービス業
今期の実績	業況	△２５．８	△２６．６	△４５．５	△１５．０
	売上額（完成工事額）	△２２．６	△３３．４	△４１．０	△１１．６
	採算	△２２．５	△２０．０	△４０．９	△１１．６
	資金繰り	△２２．６	６．７	△３１．８	△６．９
来期の見通し	業況	△２９．０	△１３．３	△４３．２	△２５．０
	売上額（完成工事額）	△９．７	０．０	△４０．９	△３１．７
	採算	△９．６	△６．６	△４３．２	△２３．４
	資金繰り	△１６．１	０．０	△２５．０	△１５．５

業　　況

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「悪化」、建設業は「悪化」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「依然不調」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「横ばい」、建設業は「悪化」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「悪化」を予測している。

売上額（完成工事額）

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「更に悪化」、建設業は「更に悪化」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「横ばい」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転」、建設業は「ﾌﾟﾗｽ域ながら悪化」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「更に悪化」を予測している。

採　　算

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「横ばい」、建設業は「悪化」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「横ばい」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転」、建設業は「横ばい」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「依然不調」を予測している。

資 金 繰 り

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「更に悪化」、建設業は「ﾏｲﾅｽ域ながら好転」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「やや悪化」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「悪化」、建設業は「ﾏｲﾅｽ域ながら好転」、小売業は「依然不調」、サービス業は「やや悪化」を予測している。

業 種 別 景 気 動 向

【 製 造 業 】

期 ＼ 項 目			業 況		売 上 額		採 算		資 金 繰 り	
対前年比	①	27年10月～12月期		△１９．４		△６．５		△２２．５		△３．２
	②	28年 1月～ 3月期		△２９．０		△１６．７		△２９．１		０．０
		28年 4月～ 6月期		△３５．５		△１６．１		△３２．２		△９．７
		28年 7月～ 9月期		△２６．６		△６．７		△２６．６		△１２．９
	今期	**28年10月～12月期**		**△２５．８**		**△２２．６**		**△２２．５**		**△２２．６**
	来期見通	29年 1月～ 3月期		△２９．０		△９．７		△９．６		△１６．１

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「−６．４ポイント」と、悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+０．０ポイント」と、横ばいを予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「−１６．１ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+７．０ポイント」と、ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「+０．０ポイント」と、横ばいである。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+１９．５ポイント」とﾏｲﾅｽ域ながら好転すると予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「−１９．４ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「−１６．１ポイント」と、悪化すると予測している。

【 建 設 業 】

期 ＼ 項 目			業 況		売 上 額		採 算		資 金 繰 り	
対前年比	①	27年10月～12月期		△１７．６		△１１．８		△１１．７		△１７．６
	②	28年 1月～ 3月期		０．０		５．９		△１１．７		△１１．７
		28年 4月～ 6月期		△６．７		△６．７		△１３．４		△１３．４
		28年 7月～ 9月期		△３３．３		△４０．１		△３３．３		△２０．０
	今期	**28年10月～12月期**		**△２６．６**		**△３３．４**		**△２０．０**		**６．７**
	来期見通	29年 1月～ 3月期		△１３．３		０．０		△６．６		０．０

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「−９．０ポイント」と、悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「−１３．３ポイント」と、悪化すると予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「−２１．６ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「−５．９ポイント」と、ﾌﾟﾗｽ域ながら悪化すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「−８．３ポイント」と、悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+５．１ポイント」と依然不調を予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「+２４．３ポイント」と、ﾏｲﾅｽ域ながら好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+１１．７ポイント」と、ﾏｲﾅｽ域ながら好転すると予測している。

【 小 売 業 】

期 ＼ 項 目			業 況	売 上 額	採 算	資 金 繰 り
対前年比	①	27年10月～12月期	△２０．４	△３４．２	△２０．４	△１３．７
	②	28年 1月～ 3月期	△２９．５	△２９．６	△２９．６	△２０．５
		28年 4月～ 6月期	△３８．７	△４９．９	△４５．５	△２５．０
		28年 7月～ 9月期	△４７．８	△４０．９	△４３．２	△２２．７
	今期	**28年10月～12月期**	**△４５．５**	**△４１．０**	**△４０．９**	**△３１．８**
	来期見通	29年 1月～ 3月期	△４３．２	△４０．９	△４３．２	△２５．０

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「-２５．１ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-１３．７ポイント」と、更に悪化すると予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「-６．８ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-１１．３ポイント」と、更に悪化すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「-２０．５ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-１３．６ポイント」と、更に悪化すると予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「-１８．１ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-４．５ポイント」と、依然不調を予測している。

【サ ー ビ ス 業】

期 ＼ 項 目			業 況	売 上 額	採 算	資 金 繰 り
対前年比	①	27年10月～12月期	△１２．３	△１５．５	△１７．２	△５．３
	②	28年 1月～ 3月期	△１９．３	△１７．３	△２２．４	△８．７
		28年 4月～ 6月期	△１８．４	△２０．０	△２６．６	△１０．０
		28年 7月～ 9月期	△１６．９	△２０．０	△１８．３	△１５．２
	今期	**28年10月～12月期**	**△１５．０**	**△１１．６**	**△１１．６**	**△６．９**
	来期見通	29年 1月～ 3月期	△２５．０	△３１．７	△２３．４	△１５．５

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「-２．７ポイント」と、依然不調である。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-５．７ポイント」と、依然不調を予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「+３．９ポイント」と、横ばいである。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-１４．４ポイント」と、更に悪化すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「+５．６ポイント」と、横ばいである。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-１．０ポイント」と、依然不調を予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「-１．６ポイント」と、やや悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「-６．８ポイント」と、やや悪化すると予測している。

設　備　投　資　の　状　況

【製　造　業】

今期は７企業（調査対象の22.6%）が「生産設備」「付帯施設」「ＯＡ機器」「その他」に設備投資を実施。また、来期は５企業（調査対象の16.1%）が「土地」「工場建物」「生産設備」「車両・運搬具」「その他」へ設備投資を計画。

【建　設　業】

今期は４企業（調査対象の26.7%）が「車両・運搬具」「ＯＡ機器」「その他」に設備投資を実施。また、来期は２企業（調査対象の13.3%）が「建設機械」「車両・運搬具」「その他」へ設備投資を計画。

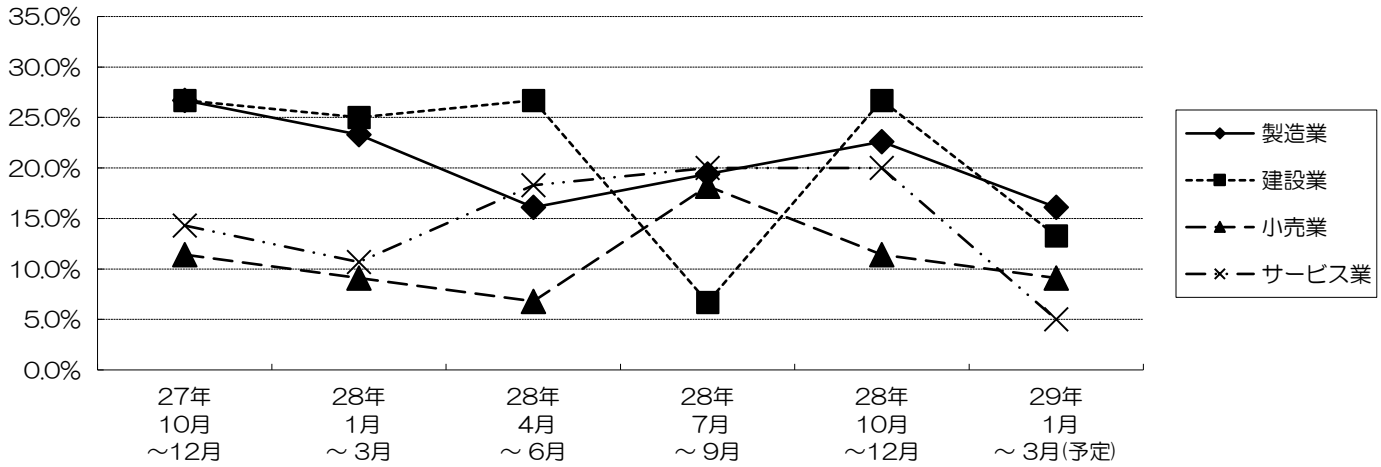
【小　売　業】

今期は５企業（調査対象の11.4%）が「土地」「販売設備」「車両・運搬具」「付帯施設」に設備投資を実施。また、来期は４企業（調査対象の9.1%）が「土地」「店舗」「車両・運搬具」「ＯＡ機器」へ設備投資を計画。

【サービス業】

今期は１２企業（調査対象の20.0%）が「土地」「建物」「サービス」「車両・運搬具」「付帯施設」「ＯＡ機器」「その他」に設備投資を実施。また、来期は３企業（調査対象の5.0%）が「建物」「サービス」「車両・運搬具」「付帯施設」へ設備投資を計画。

新　規　設　備　投　資　グ　ラ　フ



経　営　上　の　問　題　点

【１番の問題点として回答された上位３項目】

【製　造　業】

１位	「需要の停滞」
２位	「製品ニーズの変化」
３位	「大企業の進出による競争の激化」「原材料価格の上昇」

【建　設　業】

１位	「請負単価の低下、上昇難」
１位	「熟練技術者の確保難」
３位	「新規参入業者の増加」「従業員の確保難」

【小　売　業】

１位	「大型店・中型店の進出による競争の激化」
２位	「仕入単価の上昇」
２位	「需要の停滞」

【サービス業】

１位	「利用者ニーズの変化」
２位	「需要の停滞」
３位	「大企業の進出による競争の激化」

【回答のあった問題点の上位３項目を集計した順位】

【製　造　業】

１位	「需要の停滞」
２位	「従業員の確保難」
３位	「製品ニーズの変化」「熟練技術者の確保難」

【建　設　業】

１位	「熟練技術者の確保難」
２位	「請負単価の低下、上昇難」
３位	「従業員の確保難」「下請業者の確保難」

【小　売　業】

１位	「需要の停滞」
２位	「購買力の他地域への流出」
３位	「大型店・中型店の進出による競争の激化」

【サービス業】

１位	「利用者ニーズの変化」
２位	「需要の停滞」
３位	「利用料金の低下、上昇難」